



よこどっ子

千葉市立横戸小学校
〒262-0001
千葉市花見川区横戸町 1005
TEL043-259-5588
学校だより第6号
令和7年10月31日(金)



経験とともに広がる視野

校長

10月に入り冷え込む日が増えましたが、子どもたちは相変わらず元気に校庭を駆け回っています。5・6年生は来月の千葉市陸上大会に向け練習に取り組んでいますが、先生の指示を待つだけでなく、自分たちで声を掛け合いながら練習に取り組む姿に大きな成長を感じます。

10月はひまわり学級のげんきキャンプ、花島公園まで歩いた全校なかよし遠足、1・2年、3・4年の校外学習など、校外での活動が数多くありました。学校を離れた学習はその準備を含めて多くの学びがあります。全校遠足は1年生から6年生までの縦割り班に分かれ、6年生が中心となり活動を進めました。低学年は高学年のお兄さん、お姉さんに手を引かれて歩いたり、無邪気にのびのびと走り回ったりと、活動を大いに楽しんでいました。高学年は楽しみながらも、与えられた役割を自覚し、低学年に気を配りながら、皆が楽しめるよう活動を進めていました。普段、興味のあることを前にすると先生の話さえ上の空になる低学年の子どもに優しく声をかけながら、自然と一緒に活動する高学年の子どもを見ながら、私たち職員は「すごいね、私たちも見習わなくては」と6年生を頼もしく思いました。

小学校6年間の成長は大きいものです。これは机の上の勉強だけではなく、様々な活動、体験を通して培われます。体験を通して視野も広がります。遠足の行き帰りは、低学年の手を引いて高学年が車道側を歩きましたが、安全に気を配りながら、無事帰校することができました。ところが、解散したとたん、突然道路に飛び出す低学年の姿もありました。繰り返し交通安全について話をしていますが、特に低学年の子どもの視野はせまく、引き続き見守りも続けていく必要があると痛感しています。

先日3・4年生は校外学習で千葉県警察本部を訪れました。見学コースに沿って、ガラス越しに110番を受ける指令室を見ていた時、めったにないことだそうですが、刑事課の方が「質問していいよ」と声をかけてくださる場面がありました。アメリカや中東の国など海外勤務も経験したという刑事さんは、物おじせず次々と手を挙げるよこどっ子の質問にていねいに答えてくださいました。「好きな食べ物は何ですか？」などと大人ならここで聞かなくても、と思うような質問にも「食べ物」から話を広げ「当直勤務の時には生ものは食べないのだよ。生ものを食べると事件がたくさん起きるというジンクスがあるからね。」などと、案内をしていた広報担当の方でも初めて聞くというお話を聞くことができ、楽しい学びがありました。そんな中「今までで一番大変だったことは何ですか？」という問いに「いろいろな大事件、言えないような事件もあるけれど、一番つらかったのは交通事故で子どもを亡くした親御さんと話をした時だよ。」という答えを聞いた時には、子どもたちも神妙な面持ちで聞き入っていました。

先日、近隣での小学生の自転車事故のニュースもありました。日頃より子どもたちを守るためのセーフティーウォッチ活動へ保護者、地域の方々にご協力いただいておりますが、子ども達の交通マナーについて心配する声は続いています。学校では子どもたちの視野を広げ、危険に対応する力を育てるよう取り組みを続けますが、危険な場面を目にした際には、大切な命を守るための声掛け、見守りを引き続きお願いいたします。

